

# 「夏休みの生活を」

梅雨明けはまだ先でも、七月の声を聞くと、心は既に夏休みへ。様々な計画が話題に上る家庭もあることでしょう。

初めての夏休みを迎える子、幾度となく経験してきた子、また、

おのおの家庭による事情の違いはありましようが、人格形成に大切な事で、夏休みを生かすには、どうしたらよいかを考えてみます。

親御さんにとっては、一日をどう過ごさせるのかは、悩みの種でしょう。昔と比べて、母親も勤めに出る機会が増え、年寄りも仕事を持っている人が多く、家庭にいる人は少なくなりました。留守家庭の問題は、事ある毎に、社会問題となる要素を含んでおり、地域での連携等、大人の環境作りでの配慮が、是非とも欲しいものです。

## ◎遊びのチャンス到来

私たちの子供の頃は、仲間と大勢で、しかも自発的に、山や川で遊んだものですが、今の子供は、テレビやビデオ、ラジカセにテレビゲームと、少人数で、部屋の中で遊ぶことが多く、屋外での自然を生かした遊びから、機械相手の遊びへと移行しているといえます。その功罪は、挙げればきりがありませんが、社会性を培う量や質

が大きく変化してきたことに違はなく、それは、他人の事を思いやらない自己中心的な人間が多く輩出される土壌となっているということです。

興味は、遊びによって培われ、興味の追求を続ける生活力の盛んな人格も、遊びによって創られるといわれます。朝から晩まで、よく遊ぶ子は、将来、勤勉な実際家になるともいわれています。



人格形成にとって、遊びが重要な基礎となることを考えれば、時間がたっぷり確保できる夏休みこそ、貴重な体験ができるチャンス到来と喜ぶべきでしょう。

## ◎基本的生活習慣の中で

生きる遊び  
生き生きとした遊びへのステップとして、張りのある生活を送るために、就寝、食事の時間をきちんと習慣化することが大切です。

基本的な生活の習慣化は、生活リズムを作り、意欲を湧かせます。

また、本人と家庭で、勉強やお手伝いの時間を設定し、その時間は、何でもいから、学習に向かわせたり、年令に応じた約束の手伝いを、必ずやらせることです。

その際、決して、無理な内容にしないこと、できた日には、必ずほめてやり、できなかった日は、その理由を聞いてやりませす。頭ごなしに怒ったりすることは、敢に慎みましよう。

それ以外の時間は、自由に遊べる時間にしましょう。ただ、機械相手の遊びは、時間的に制限する必要があります。友達同士で多くふれあう場を設けてやり、後は、できるだけ、子供たちにまかせ、創意工夫する余地をもたせましよう。

◎親子のふれあいを遊びの背景に  
遊びに危険はつきもの。危険を防ぐためにも、親子の絆を深めるためにも、食事や団欒の機械をとらえて、どんな遊びをしたのか、するのかわいたり、親御さんの経験等を混えて、会話を。

遊びのヒントを与える事他にも、お互いの普段とは違った姿が発見でき、親子の距離を縮める役割も果たしてくれることましよう。日頃、塾や習い事で、空いた隙間を補うために、この夏休みを生かすといのはいかがましようか。

## 大谷木季重写真展

郷土の写真家大谷木季重さんは、写真業のかたわら、ふるさとの風景、文化財などの優れた写真を撮り続け、これまで運輸大臣賞、県芸術祭賞をはじめ県内外の教多くの賞に輝くなど高い評価を得てきました。

大谷木さんの代表作を一堂に集めた写真展を次のとおり開催します。

期間 7月17日から19日まで  
会場 ふるさと会館

主催 大谷木季重写真展開催実行委員会  
問合せ 事務局 奥 隆行

☎(43)3132

## 第四回ふるさと講演会

「まちづくり」は、「ひとづくり」からといわれます。

『生涯学習とまちづくり』をテーマに、『第四回ふるさと講演会』を開催します。

期日 7月5日(日)  
時間 午後1時30分～3時30分

会場 富士女性センター  
3階大研修室  
テーマ 「生涯学習とまちづくり」  
講師 山中伸一氏(都留市出身)  
横浜国立大学助教

後援 都留市  
問合せ SANTIキャンパス  
ウン都留を創造する市民の会 事務局 奥 隆行

☎(43)3132

## 青少年を非行から守る全国強調月間

夏の開放期を控え、そして長期の夏休みを前にして、国民運動として青少年の健全育成に努めるための強調月間です。

都留市におきましても、次のような点に重点をおいて、市民全体で健全育成に努めて行きたいと思ひます。

- ☆基本的生活習慣を身につけさせる
- ☆社会のルールを守るしつけをする
- ☆過保護に育てない
- ☆子どもの欲求に耳を傾けることはよいが、限度を考える
- ☆社会人が連係して、健全な環境づくりに努める
- ☆子どもを孤独に追いやらないための努力を忘れない

都留市青少年総合対策本部・市教育委員会・青少年育成都留市民会議